



広報

あくな

第348号

世帯数と人口 (12月1日現在)		
世帯数	9,224	(+8)
人口	30,849	(-19)
男	14,378	(-13)
女	16,471	(-6)
()内は前月比		

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
 昭和51年1月5日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



謹んで新春の
お慶びを申し上げます

新年号

人間優先の市政を

公共福祉の向上に努力

阿久根市長 坂 元 善 文



明けましておめでとうございませす。

輝かしい昭和五十一年の新春を迎え、皆様のご健康をお祝い申し上げますとともに、平素からの市政に対するご理解とご支援に対し、深く感謝申し上げます。

激動に明け暮れた昭和五十年を静かにふり返ってみますと、全世界を襲った不況の波は、私たち庶民生活にまで捲いかぶさり、厳しい現実さらされたことは、ご承知のとおりでございます。

この厳しい情勢の中にあつて、市民の福祉向上を希求する市政においても例外ではありません。高産成長から安定成長へと転換が迫られた総需要抑制政策の影響を受けて、かつてない財政危機に直面

し、公共事業を始めとする諸施策の遂行に大きな障害となったことは否定できません。

私は市民の皆さんの付託を受けて、第七代市長として市政をおおづかりして、まだ一年足らずではありますが、明るく豊かな希望のもてる生きがいのある都市建設のため、し烈な現実をふまえ、行政本来の姿勢を堅持しつつ、産業、教育、文化、福祉の向上に最大の努力を惜しまず、一步一步をふみしめながら人間優先の市政を積極的に進めてまいりました。

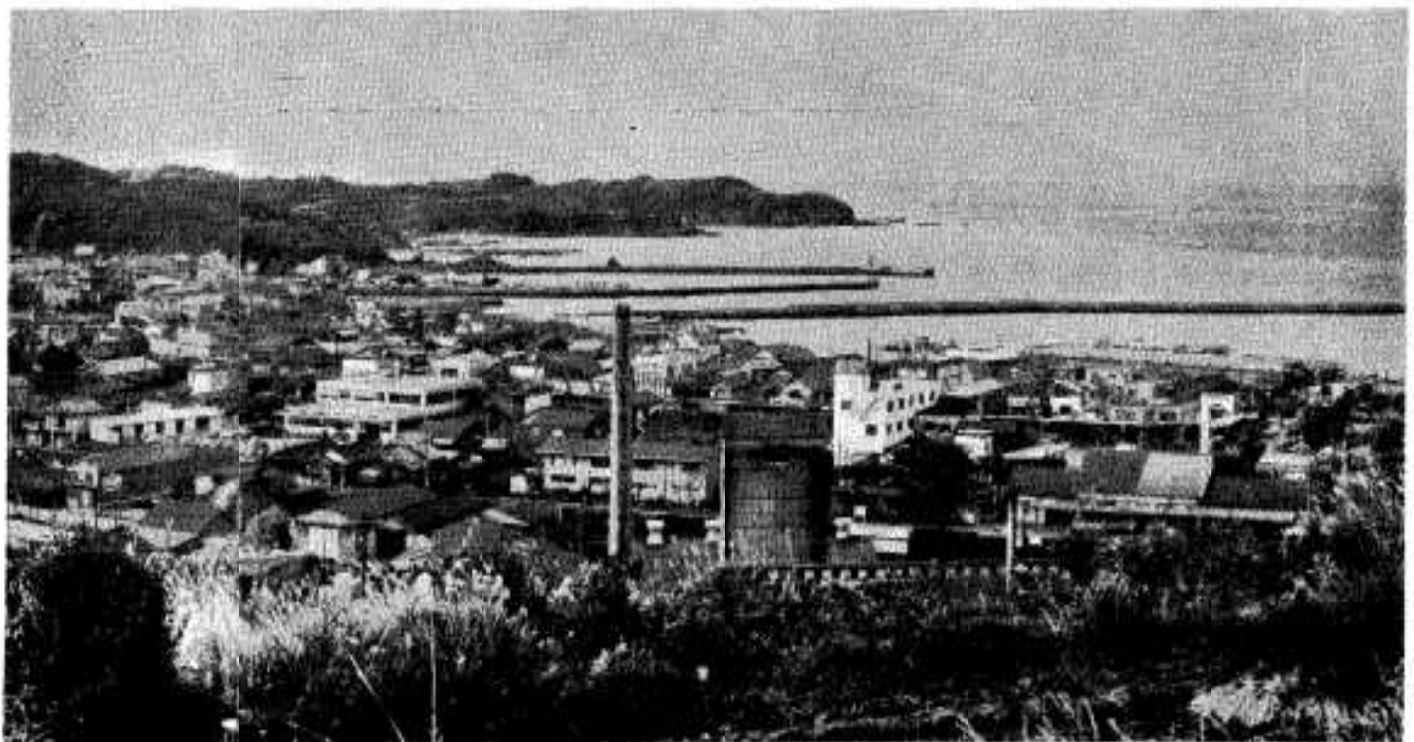
特に産業振興の基盤をなす市道の改良舗装、沿岸漁業に一大転機をもたらす阿久根新港の整備、国立阿久根検査所の整備促進、総合ダウンスのナイター施設、小・

中学校の整備充実と老人バスの購入、牛ノ浜地区簡易水道事業の着工など、過疎からの脱皮を模索しながら、可能な限りの努力を重ねてまいりました。

新しい年を迎えるにあたり、まだまだ多くの問題を抱えておりますが、一に市民生活の安定、公共福祉の向上を目指し地についた市政を遂行するのが私の使命であり今後更に市民の皆さんの深いご理解とご協力を賜りながら、道路の整備、文教施設の充実、農林水産業の振興、企業の誘致、長崎県野母時間フェリーの早期就航、商工観光の発展策を引続き推進してまいるべく、決意を新たにしている次第であります。

この緑多い故郷を守り、人間性豊かな市民性を培い、福祉の向上を図りつつ、生活環境をより一層充実させるため、最善の努力をいたしてまいります。

市民の皆さん、どうか本年も市政に対し倍旧のご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。



特集 辰年生まれ

今年辰年。人口3万849人の阿久根市には、おおむね、その12分の1の2570人が辰年生まれだと考えられます。
小学校5年生から明治37年生まれのかたまで、辰年にもなんで新年の抱負と考えかたを寄稿していただきました。



新年の抱負

新春に思う

長野 平国正 富

私は、一九〇四年の辰年生まれで、今年で六回目の辰年を迎えました。龍は雲を巻き上げて、天に昇る勢いがあると語られています。

高度経済成長の好景気から、低成長による不況の時代を迎えている今日、龍のごとく不況を巻き上げて、この難関を切り開いていきたいものです。

今日の世相をみるときに、あまりにも自己主張が多すぎるように思われます。

例えば、昨年末のストをみるときに、ストの是非は別としても、あまりにも日本国中を混乱に陥れたように思います。

世の中は、ただ己一人だけの小さな幸せのために満足することなく、持ちつ持たれつであることを忘れてはならないと思うのです。権利には義務が、自由には責任が、車の両輪のようにあることを忘れてはならないと思います。平和で幸せに暮らすために、最も大切なことは何であるか、もう一度考えてみたいものです。私達人間社会の営みも自然の摂理にうまく調和しており、うるわしい慣習を育て法を守り、なすべきこと、なすべからざることをはつきりと心に刻みつけて、毎日を送ることだと考えます。



① 明治三十七年生れ
前市議会議長

このようなことによつて、阿久根市の政治も、経済も、文化もそして教育もますます向上発展していくことだと思えます。

後継者育成で遠洋漁業を

新町 新町 清左衛門



① 大正5年
② 漁業・養鶏業

新しい年は、すがすがしいものです。私も今年六十歳。大正五年生まれですから、辰年生まれです。

今年で五回目の辰年ですが、何よりも元気に正月を迎えられたことが、一番の喜びでしょう。

三年前に、胃の手術を受けてから、どうにか体調も回復し、漁業や養鶏に精出していきます。

養鶏は採卵鶏ですが、始めてから今年はもう十五年目を迎えました。不況で本業の漁業だけでは生活できないということで始めた養鶏でした。

漁業と言いますが、私の漁業は、ワカメ漁が主なものです。三年前、水産改良普及所の指導をいただきまして、浅海漁業としてワカメ養殖を始めたことが、私の漁業を変える動機となりました。

つまり私の漁業は、とる漁業から、つくる漁業へと変わったわけですが、今年もワカメ養殖の採草期になる二月中旬を目前に、十二月には種苗を終えています。

新港も着々と整備されつつありますが現在の整備計画に防波堤を加えていただきたいものです。

これからの漁業は、沿岸漁業に依存するだけでなく、遠洋漁業が心要になると思います。そのためには、後継者育成が急務だと思います。

漁業者にとって、海は命綱です川内原産は、私達漁業者の死活の問題でもあり、隣接する漁業者として、阻止したいものです。

海に生きる漁業者として、今年も私なりに、頑張ろうと思えます。

土地基盤の整備を

瀬之浦下 堂後 勇助

おめでとうございます。今年も辰年とか。私も四回目の辰年を迎えたことになりました。

考えてみますと、無我夢中で歩いてきたように思います。お陰さまで年老いた両親をはじめ、家族みんな元気であることを喜んでいきます。

若い頃から農業が好きだった私は、施設園芸で農業にこそしんでいます。

今や農業も、産業経済の発達と共に、甘藷や稲作だけでは生活できないようになりました。

現在の私の農業は、施設園芸を主に、早出し温州みかんや実えんどうなどです。限られた土地を、より効率的に利用するためには、適地適作を考えることが必要です。

特に実えんどうは、連作しますと連作障害がありますので、収量が少なくなります。そこで、土壌消毒とかブルトーザーでの天地返し深耕などが必要となりますし、これらに対する対策も考えていただきたいものです。

高知県や宮崎県など先進地を視察する機会がありますが、農業で生活するには、農道の新設や改良、土地基盤の整備が必要だと痛感いたしました。

さいわい瀬之浦地区においても農業構造改善事業で水田や畑を整備していただきました。そこにハウスを設け、年間収穫できる長期一作型のキュウリを栽培し出荷しています。

市においては、今後も土地基盤の整備や農道整備に努めていただきたいものです。



① 昭和三年生まれ
② 農業

今年を仕上げの年に

末正地寺 中無尻



① 昭和27年生まれ
② 商業

市民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。新年をどの様にお迎えでしょうか。皆さんも年頭にあたり目標、抱負なり今年一年の計を立てられたことでしょうか。自営しております私も、新年にのみ希望、目標なり心に立てております。ところが、毎年実行となりませんと半分も実行できずしております。せめて年男の今年は、自分の人生においても、又、仕事の方でも一つの区切りの年にしたいと思っております。自分の人生を、スポーツの三段とびにたとえれば、ホップ、ステップ、ジャンプすなわち、ホップの仕上げの年にしたいと思っております。仕事の方では基礎を築いてきたこの五年間の完成の年にしたいと思っております。

老舗には必ず「のれん」というものがあります。現在の経済情勢の中を乗り切つてゆくには、この会社、個人も内容は同じだと思いますが、最後のプラスアルファとは何か。それは名実ともに、皆さんから認められ築いてきた「のれん」が必要になってくると思えます。五年前社人となったときから今日まで、この「のれん」の重要さを増すことに痛感しております。一日も早く私のれんを築き、一人前の事業家として成功したいと思っております。そのためにも一歩一歩一日一日、この一年心身ともに充実して後悔の念なく頑張り、自分の人生の基礎の完成に努めなければならぬと考えております。

心をあらたにして

永田下 鳥飼典子

今年はずつ年です。わたしが生まれた昭和三十九年も、たつ年です。だから、わたしが生まれてから、今年にはやくも十二年目となります。

わたしは、たつというのには、あまり聞かない名まえなので、父母たちに聞いてみました。「たつというのには、へびに似ている物だ、そして元氣よく天にのぼるといい伝えがある」と教えてくれました。わたしは、ほんとうなかなかな、ほんとうにへびに似ているのかなと気持悪く思いました。

今年はずつ年できなかったことの中でまず第一に、学校のそうじを、いっしょうけんめいやりたいと思います。そして学校をきれいにしていきたいと思えます。そうすることによって、わたしの心をきれいにすることになると思えます。それから第二に思うことは、母の手伝いがあまりできなかったので、いっしょうけんめいやりたいと思えます。母が毎日、働いているすがたを見るとほんとうに、そんな気になったのです。

今年こそは、いっしょうけんめいがんばりたいと思えます。

今年はずつ年、小学校最上級の年。昨年とはちがったことがあるかと思えますが、心をあらたにしてがんばりたいと思えます。



① 昭和39年生まれ
② 折田小5年

長期的な畜産経営を

美清 野上 補之

昭和四十八年の石油ショックに始まった不況のあおりは、急速に畜産経営農家にも、大きな影響を与えました。

仕入れる子牛は高く、売渡す肉牛は安いという、飼料は高くなる一方でした。

加えて輸入肉の影響まで受けて、肉牛経営は行き詰まり、かつてない沢山の負債をかかえこんでしまいました。

突に一年半にわたる赤字経営が続いたのです。私達肉牛経営農家は、この負債をいかにして返済するか、今後経営を維持できるのかと不安の毎日でした。

そして肉牛農家みんなで相談し、その対策を急いでいただいたのです。

この悩みは、やがて全国の畜産農家にまで広がり、畜産危機突破大会が開かれたのです。その結果国においても、輸入肉の規制、負債整理資金牛肉価格の安定対策などがとられ、ようやく今年夏頃から、肉牛価格は安定の方向に変わってまいりました。

牛で受けた負債は、牛で取り戻せと、肉牛グループ全員で励まし合い、経営改善に取り組んでいます。牛に限らず、養豚に限らず畜産経営は、長期的な経営の積み重ねが必要でです。

また安定した畜産経営は、肉牛価格を引き上げていたかなければならないのです。

今年も私は、畜産農家として市や農協のご指導ご援助をいただきながら、肉牛経営をこつこつと続けていきたいと思っております。



① 昭和15年生まれ
② 農家



① 昭和27年生まれ
② 中村製材所勤務

ささやかな夢の実現を

教内 佐藤 ぬい子

五年前、私は東京のある会社に入社しました。入社式の日、社長が祝詞に「阪年生まれの方は、自分のすべての力を奮いたたせて、天に向かって一気に舞い上る努力と根性と、勇気のある人だ。その勢いで舞い上ったら豊物は常に天にあり、その豊物に向かって精進してほしい」と言ってくれました。

今考えてみますと、全くのお世辞なのですが、その時は、単純に喜んだものです。

あれから五年、私は、どんな豊物を手に入れたのでしようか。考えてみますと、目に見えるもの、身についたものは何もないのです。ただ人と話をする時、人に会うことを億劫がらず、楽しくさえ感じるようになったことです。

田舎に帰って来て、一年余りになりますが、人との和が大事なことを知りました。週一回はホテルで会食し、月一回は国内旅行を楽しみ、三か月に一度は、狭い地球を駆け回るといふ生活は、元旦の日の夢物語りであってこれからの私の豊物は、ずっと現実的に、阿久根に合った生活、自分に無理のない計画の中に、ささやかな夢をとり入れていこうと思えます。さわやかさと、かわいらしさと愛らしさを添えて、誰からも愛されるように。

阪年生まれの方は、いい妻、いい母になれると言います。これは今、私が作った名言であります。年女の今年は、良い年でありますより祈りたいと思えます。

忘れられない優勝の感激

久 嶺 塚 尾 五年小四日

一九七六年は、ぼくの生まれた年のたつ年です。たつ年は十二支のうちでも、一番ねばりがあり強そうな動物にみえます。そんな年に生まれてよかったなあと思えます。

ぼくが生まれて、もう十二年になると思うと今までのことが、そうまとうのようにうかんできます。

一番、楽しくて心に残っていることは、保育園の時、万国博らん会に大阪まで、家族で行ったことや、小学校に入學してからは、市のソフトボール大会に優勝した時の喜びは、おすれることができません。あの時は、時計の針がとまってくれたら、いつまでも優勝の場面が続いているのになあと思ったほどでした。

楽しいことが山ほどあった中に悲しいこともありました。やさしかった祖父が、おそろしいガンにおかされてなくなったことです。その時の父と母の悲しむすがたを見て、この世に病気がなかったらなあと思えました。

また入学してまもなく、クラスの落やす子さんが、大木で家族全員なくなり、先生とそり式に行ったこともありました。四年生の時、担任の木原先生の死など、ぼくには一生忘れられないことです。

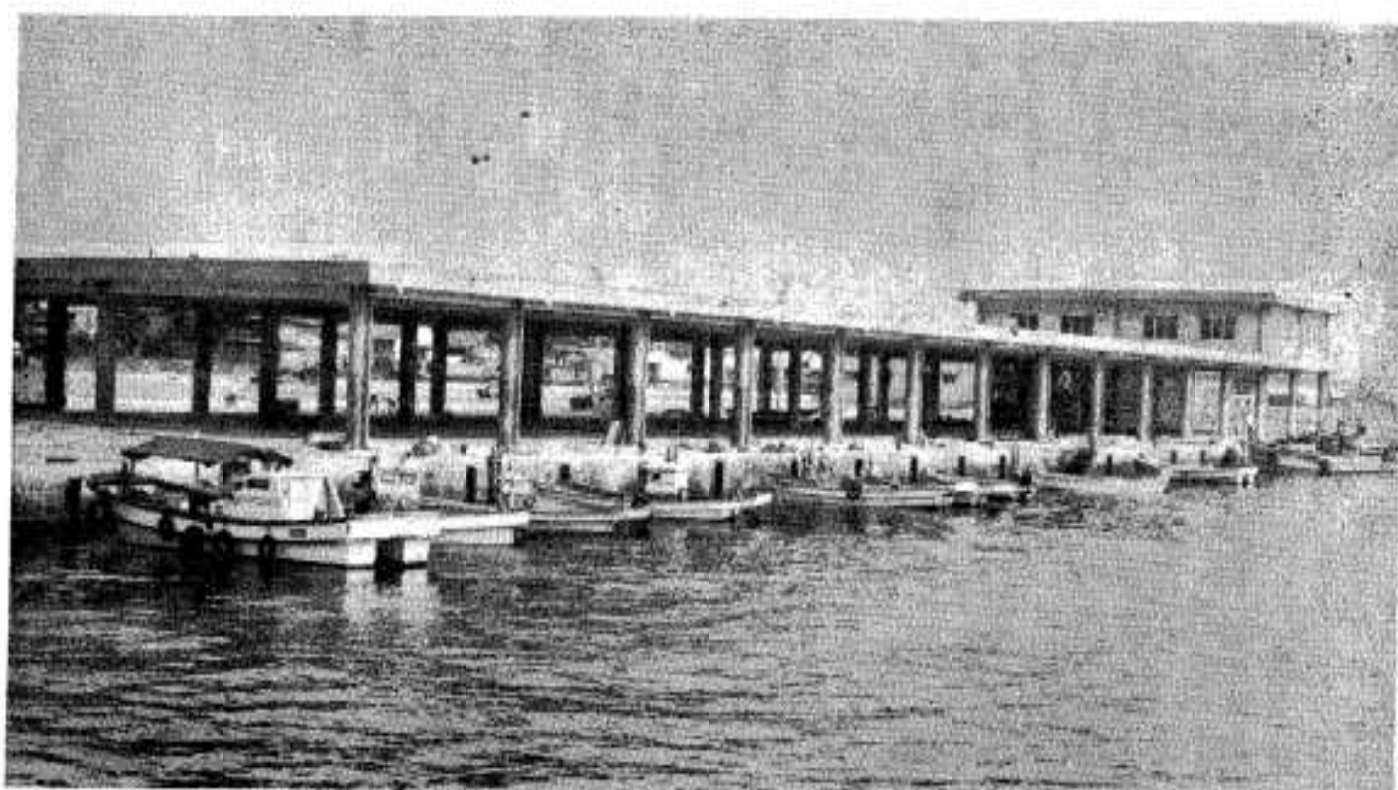
こうした中で、ぼくは十二年間元気に過ごすごうことができました。これは、大へん苦勞してぼくを育ててくれた父母のおかげです。今年是最上級生になるのだから、いろいろよい計画を立てて意義ある五十一年にしたいと思えます。



① 昭和三十九年生まれ
② 四日小五年

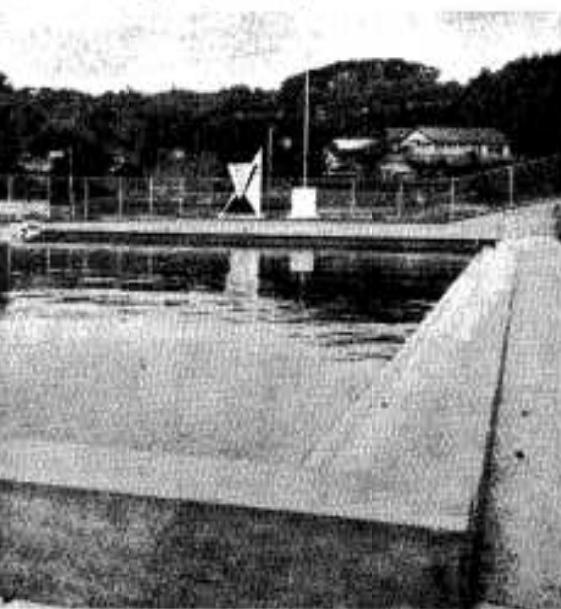
伸び行く阿久根

写真特集

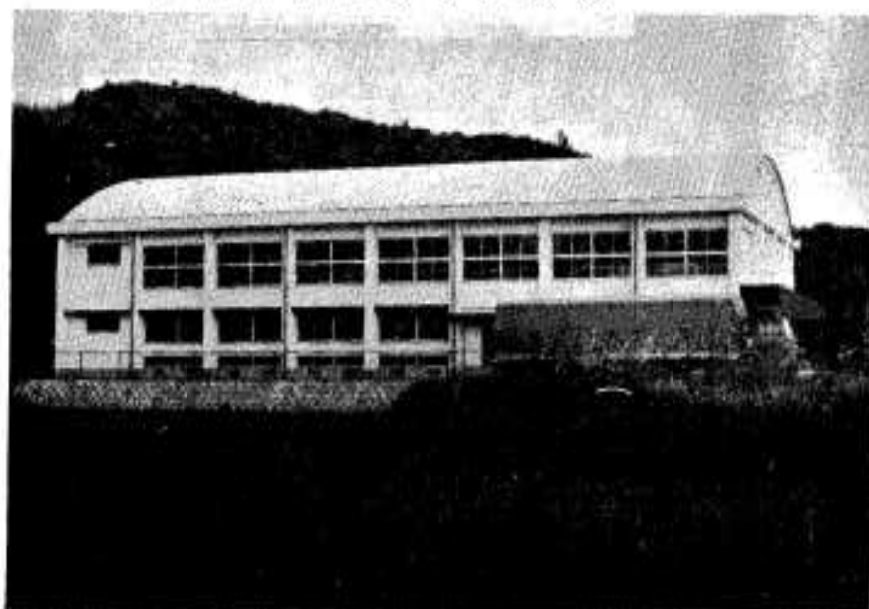


△ 完成が近い新港の水産物流通加工センター

鶴川内小プール



▽ 鶴川内中体育館完成





△ 着々と整備される国立療養所

▽ 完成を急ぐ大川中危険校舎改築工事





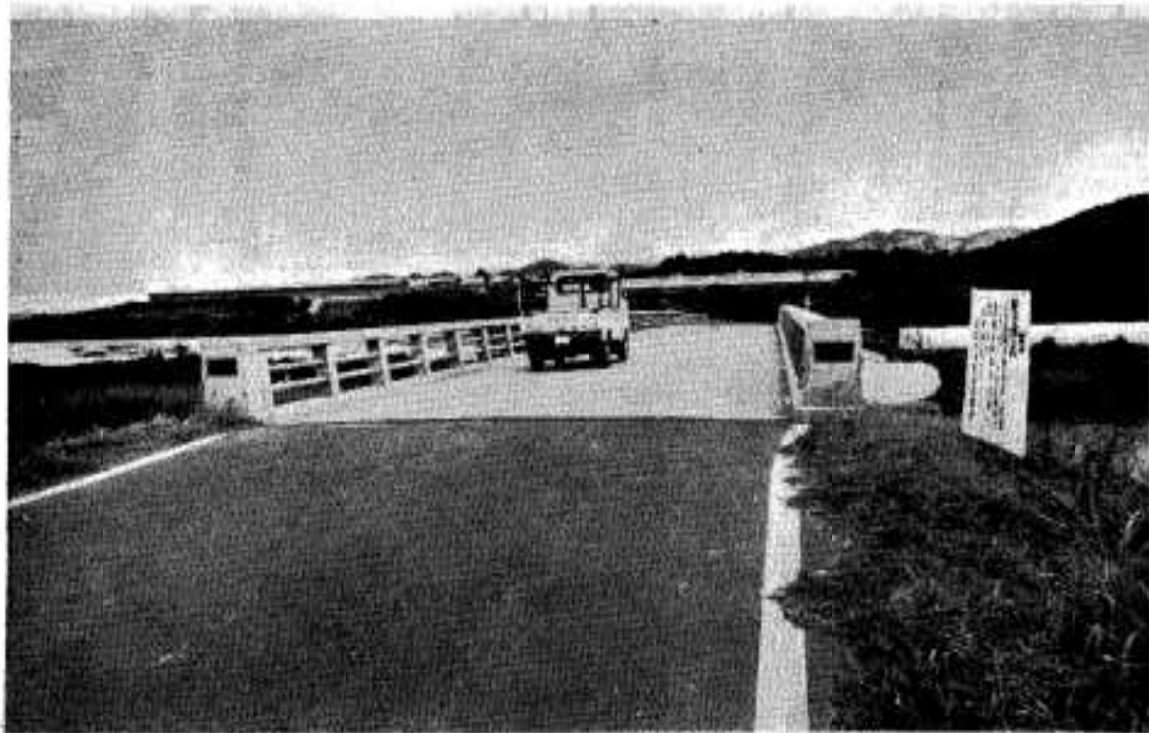
△ 失対による道路の補修工事

崩されつつある県道八郷付近



▽ 中津原の排水工事(折日)





▽企業農場団地を結ぶ山波橋(山下)

▽山下への県道も拡幅(波留)



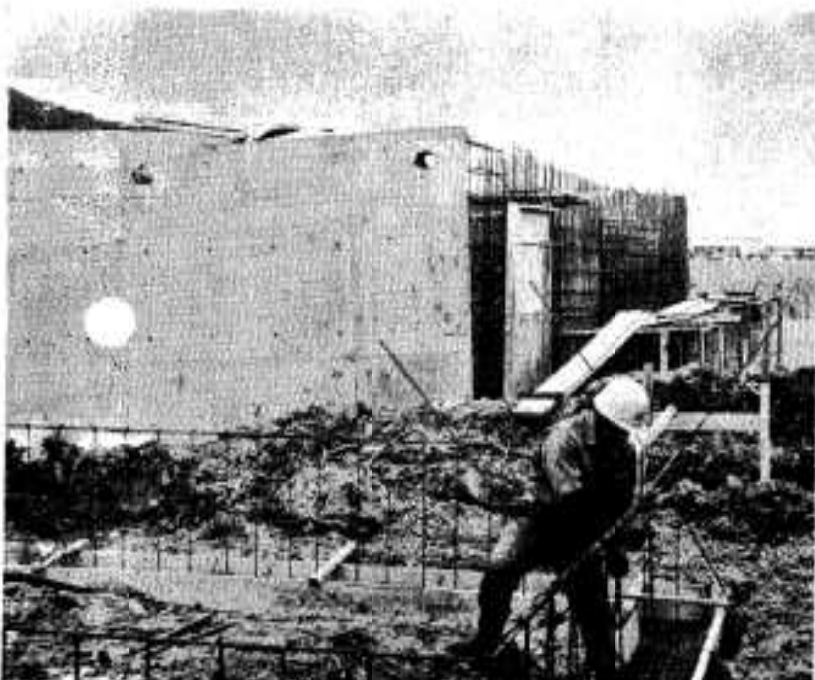


▽ 総合グラウンドにナイター設備完成



△ お年寄りに好評の老人福祉バス

▽ 公害防止に汚水処理場増設(と場)



▽ 国民宿舎道路の災害復旧工事急ピッチ



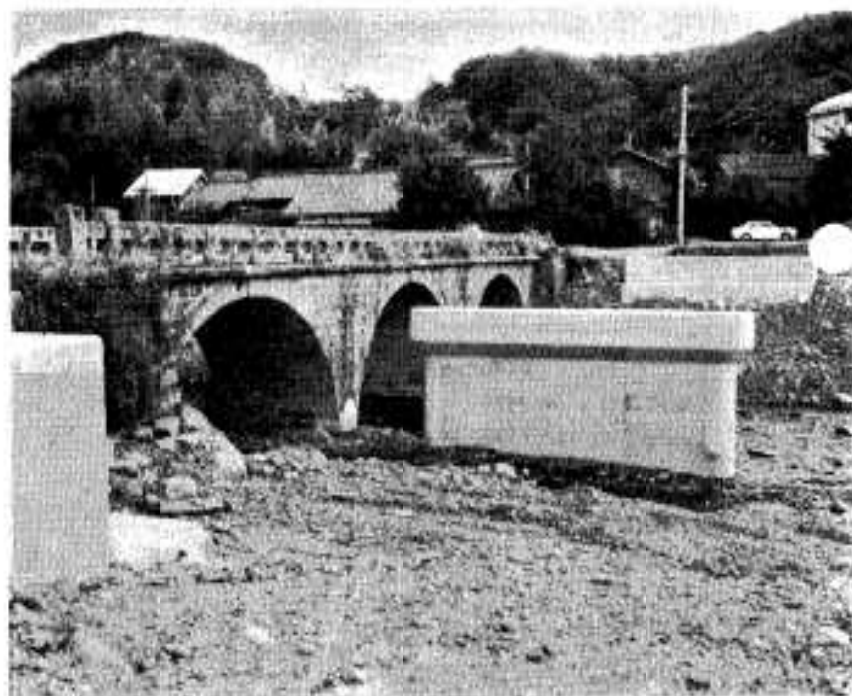


△ 魚船のひしめく黒之浜港改修はじまる



◁ 高潮対策に折多樋門改修工事が急ピッチ

▽ 楠之本橋も近くかけかえ(鶴川内橋)





△ 舗装直前の路面地ならし

▽ 舗装完工も間近か



△ 市道もこんなに立派に

活躍する失対事業

おめでた

- | | |
|--------|---------|
| 原口 加代子 | 勝也(中村) |
| 別店 法尚 | 義輝(永田上) |
| 久保美穂子 | 照(新町) |
| 牧内みゆき | 義春(牧内) |
| 大橋 亜希子 | 絃一(段) |
| 神之田優一 | 優(中屋敷) |
| 川俣 理恵 | 正信(牧内) |
| 備 亜砂美 | 草彦(濁) |
| 森 昌弘 | 武夫(高之口) |
| 松舟 恵介 | 良一(高松) |
| 巻木 祐子 | 輝男(濁) |
| 川路 広美 | 緑行(遠矢) |
| 大富 秀美 | 純晴(上野) |
| 田中 浩二 | 重則(遠矢) |
| 入尾野貴之 | 久志(濁) |
| 吉野 一人 | 良人(遠矢) |
| 東山 信幸 | 義夫(段) |
| 恒吉 康孝 | 慶市(永田上) |
| 猿楽 盛一 | 盛雄(佐濁) |
| 堀切 真澄 | 栄一(脇馬場) |
| 松木 敏子 | 幸信(黒之上) |
| 外戸口みどり | 勇(古里) |

停電のお知らせ

水俣、出水間の特別高圧送電線工事のため、二月五日午前九時より午後二時まで停電となります。

日曜医さん

- | | |
|--------|-------------------|
| 一月十一日 | 中村医院 ②0015 (大丸) |
| | 内山病院 ③1551 (高松) |
| | 浜之上医院 ⑤2600 (脇馬場) |
| 一月十五日 | 阿久根内科 ②0578 (新町) |
| | 田中医院 ③0553 (大丸) |
| | 平 医院 ⑤2626 (古里) |
| 一月十八日 | 上國医院 ③1055 (本町) |
| | 山田病院 ②0420 (本町) |
| | 黒木医院 ⑤0200 (下村) |
| 一月二十五日 | 北国医院 ②0016 (本町) |
| | 喜多医院 ②0038 (大丸) |
| | 石原医院 ⑤0045 (橋之東) |

たばこは市内のお店で

市内のお店で販売されたたばこ代金の一部は、たばこ消費税として、市や県に納められます。昭和四十九年度に阿久根市に納入されたたばこ消費税は、四千三百五十三万二千五百円です。出張や旅行の際は、市内のお店でお買い求めください。

お買いものは市内のお店で

地元企業も育成しましょう